

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

Glico

<抜粋版>

22年12月期 第2四半期
決算説明会

江崎グリコ株式会社

証券コード 2206

2022.8.4

I .22年12月期 第2四半期 業績報告	P. 3~11
II .22年12月期 通期業績見込み	P.12~13
(補足資料)	P.14~15

I. 22年12月期 第2四半期 業績報告

※2022年12月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、以下の業績実績、計画については当該会計基準等に基づいた金額としております。

※これまで販売管理費に計上していた一部の販売費（リベート等）を売上高から控除しております。

1. 第2四半期累計の売上高は増収となったものの、中国上海のコロナウイルスによるロックダウンの影響及び国内事業の減益等により営業利益は減益

- 第2四半期累計の売上高は対前年+0.9%、営業利益は▲31.0%。
- ただし上海のロックダウンの影響を受けた中国を除くと売上高は+2.9%の増収。

2. ASEAN・米国は堅調に増収を達成

- 海外セグメントは中国上海のロックダウンにかかわらず、ASEAN及び米国が成長をけん引して対前年+8.0%の増収を達成。中国を除くと為替影響もあり+36%の増収。ただし利益面では、中国上海のロックダウンに加え、インドネシアの工場の立ち上げや米国の物流コストの上昇により減益。

3. 国内菓子、冷菓ブランド、乳業は厳しい状況だが、健康価値を伴った新製品を国内外で発売

- 国内では糖質オフのSUNAOパスタや糖質オフのおつまみ（チーザ・クラッツ）等、海外ではタイでのSUNAOアイスや台湾でのアーモンド効果等の健康価値を伴った製品を発売。

連結業績の概況



- 売上高 : 中国上海のロックダウン、国内の菓子、乳業の減収はあったものの、海外や健康カテゴリーを含むその他セグメントが増収し、対前年+0.9%増収。
- 営業利益 : 中国上海のロックダウン、国内の減益により、対前年▲31.0%減益。

(単位：億円)

	21年12月期 (旧基準)	21年12月期 (新基準)	22年12月期 (新基準)	
	上期実績	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	1,603	1,380	1,391	+0.9%
営業利益	100	100	69	▲31.0%
経常利益	112	112	80	▲28.8%
当期純利益	79	79	47	▲40.1%
営業利益率	6.2%	7.2%	4.9%	—

営業利益の状況



(単位：億円)

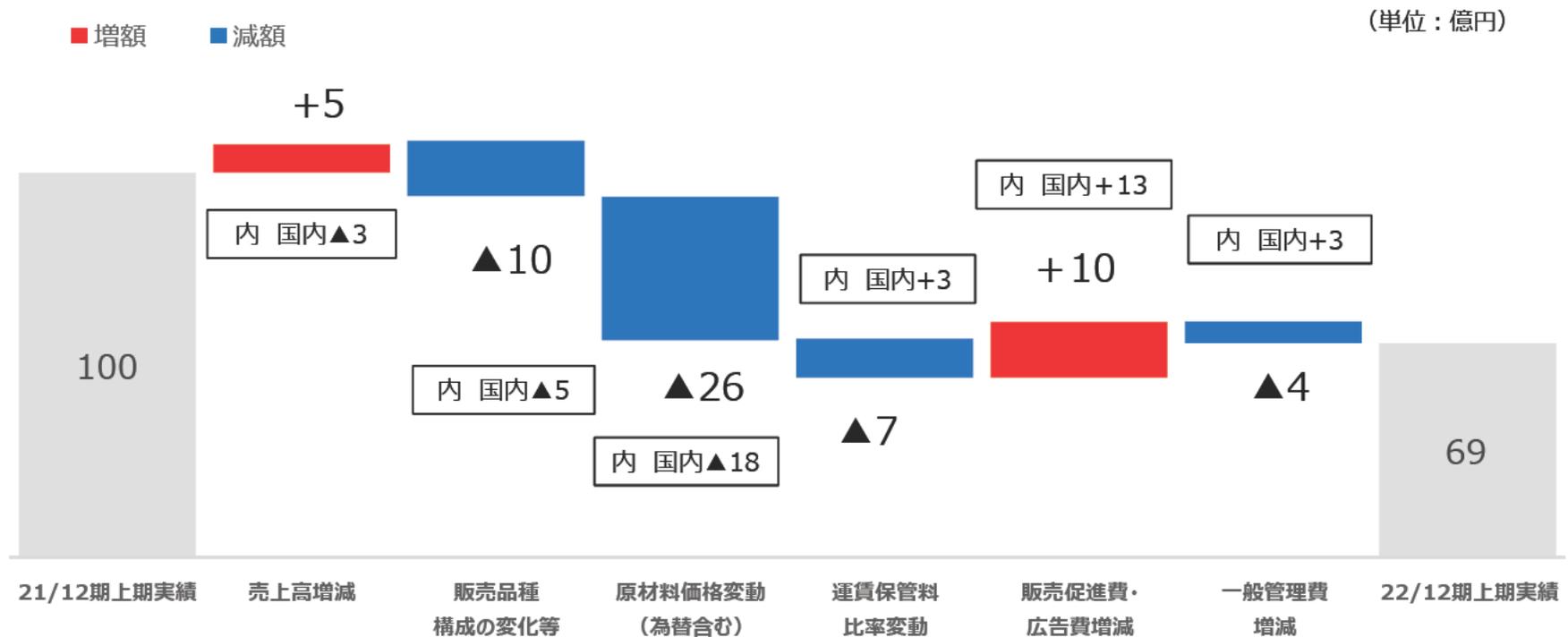
	21年12月期 (新基準)		22年12月期 (新基準)	
	上期実績	売上比	上期実績	売上比
売上高	1,380	100.0%	1,391	100.0%
売上原価	836	60.6%	877	63.0%
売上総利益	544	39.4%	515	37.0%
運賃保管料	120	8.7%	127	9.2%
販売促進費	43	3.1%	39	2.8%
広告費	44	3.2%	38	2.7%
人件費・厚生費	140	10.2%	147	10.6%
経費・償却費	97	7.1%	94	6.8%
販売費及び一般管理費 合計	444	32.2%	446	32.0%
営業利益	100	7.2%	69	4.9%

営業利益の増減要因



<前年同期比>

- 国内は、販売促進費・広告費増減等の減少による増益要因はあったものの、原材料価格の上昇や販売品構成の変化等により減益。
- 海外は、売上高増減は中国上海のロックダウンの売上減少をASEAN、米国の増収や為替の影響もあり増益要因となったものの、運賃保管料比率、原材料価格の上昇、一般管理費の増加等により減益。



セグメント別売上高の状況



- 国内は、食品、冷菓、食品原料、健康を含むその他が増収だったが、菓子、乳業が減収となり対前年 ▲0.6%減収。
- 海外は、中国上海でロックダウンがあったが、ASEAN、米国の増収、為替の影響もあり対前年 +8.0%増収。
(単位：億円)

	21年12月期 (新基準)	22年12月期 (新基準)	
	上期実績	上期実績	前年同期比
合計	1,380	1,391	+0.9%
(うち 国内)	1,152	1,145	▲0.6%
菓子・食品	321	316	▲1.6%
(うち 菓子)	263	257	▲2.4%
(うち 食品)	58	59	+2.2%
冷菓	346	358	+3.3%
乳業	348	330	▲5.1%
食品原料	51	52	+2.9%
海外	228	246	+8.0%
その他	86	89	+3.6%
(うち 健康)	62	64	+3.0%

<参考>

換算レート	21年12月期 上期累計実績	22年12月期 上期累計実績
中国(CNY)	1CNY = 16.63円	1CNY = 18.98円
タイ(THB)	1THB = 3.49円	1THB = 3.63円
米国(USD)	1USD = 107.74円	1USD = 123.16円

セグメント別営業利益の状況



- 国内は、冷菓ブランド及び乳業の減収や原材料価格の上昇等により対前年▲6億円の減益。
- 海外は、主に中国上海ロックダウンの影響により対前年▲24億円の減益。

(単位：億円)

	21年12月期	22年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期増減額
合計	100	69	▲31
(うち 国内)	78	72	▲6
菓子・食品	23	26	3
(うち 菓子)	22	25	3
(うち 食品)	1	1	0
冷菓	21	10	▲10
乳業	11	1	▲10
食品原料	6	6	1
海外	21	▲3	▲24
その他	6	6	0
調整	11	22	10

<参考>

換算レート	21年12月期 上期累計実績	22年12月期 上期累計実績
中国(CNY)	1CNY = 16.63円	1CNY = 18.98円
タイ(THB)	1THB = 3.49円	1THB = 3.63円 ⁹
米国(USD)	1USD = 107.74円	1USD = 123.16円

国内：カテゴリー別状況



カテゴリー	22年12月期 上期	
	売上高 (前年同期比)	
チョコレート	157億円 (▲4.4%)	主力のポッキーは増収となったものの、神戸ローストショコラ等が苦戦した。
ビスケット	93億円 (+0.5%)	ブリッツをはじめ、クラッツ等が増収。ビスコは減収。
冷菓	358億円 ^{※1} (+3.3%)	ジャイアントコーン、アイスの実、パピコ等は苦戦したが、卸売販売子会社やセブ ンティーンアイスは増収となった。
発酵乳	63億円 (▲18.5%)	ヨーグルト市場の縮小もあり、BifiXヨーグルト、朝食りんごヨーグルト等、全般的 に苦戦した。
ベビー育児	20億円 (▲0.7%)	液体ミルクは増収となったものの、フォローアップミルクの落ち込みにより微減収。
健康	64億円 (+3.0%)	主力のアーモンド効果（飲料）が増収をけん引。

※1 卸売販売子会社の売上高を含む

海外事業-地域別の売上高、営業利益



◆中国

(単位：百万元)

	21年12月期 (新基準)	22年12月期 (新基準)	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	645	430	▲33.2
営業利益	50	▲47	—

◆ASEAN *

(単位：百万米ドル)

	21年12月期 (新基準)	22年12月期 (新基準)	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	47	58	+23.7
営業利益	▲3	▲3	—

◆米国 *

(単位：百万米ドル)

	21年12月期	22年12月期	
	上期実績	上期実績	前年同期比
売上高	48	54	+11.7%
営業利益	18	13	▲26.0%

*ASEANの各決算期については、各国の22年12月期2Q累計の実質レートで置き換えた数値

*米国については、連結ベースの数字

Ⅱ.22年12月期 通期業績見込み

通期計画と見込み



- 売上高 : 連結全体では主に中国上海ロックダウンの影響等により、期初計画比▲0.8%、対前年+2.9%の見通し。
- 営業利益 : 連結全体では主に中国上海ロックダウンの影響、国内の状況を反映し期初計画比▲26.8%、対前比▲22.3%の見通し。

(単位：億円)

	21年12月期 (旧基準)	21年12月期 (新基準)	22年12月期 (新基準)			
	通期実績	通期実績	期初計画	通期見込み	前年同期比	計画比
売上高	3,386	2,926	3,033	3,010	+2.9%	▲0.8%
営業利益	193	193	205	150	▲22.3%	▲26.8%
経常利益	217	217	220	160	▲26.3%	▲27.3%
当期純利益	135	135	140	110	▲18.6%	▲21.4%
営業利益率	5.7%	6.6%	6.8%	5.0%		

TTM為替レート

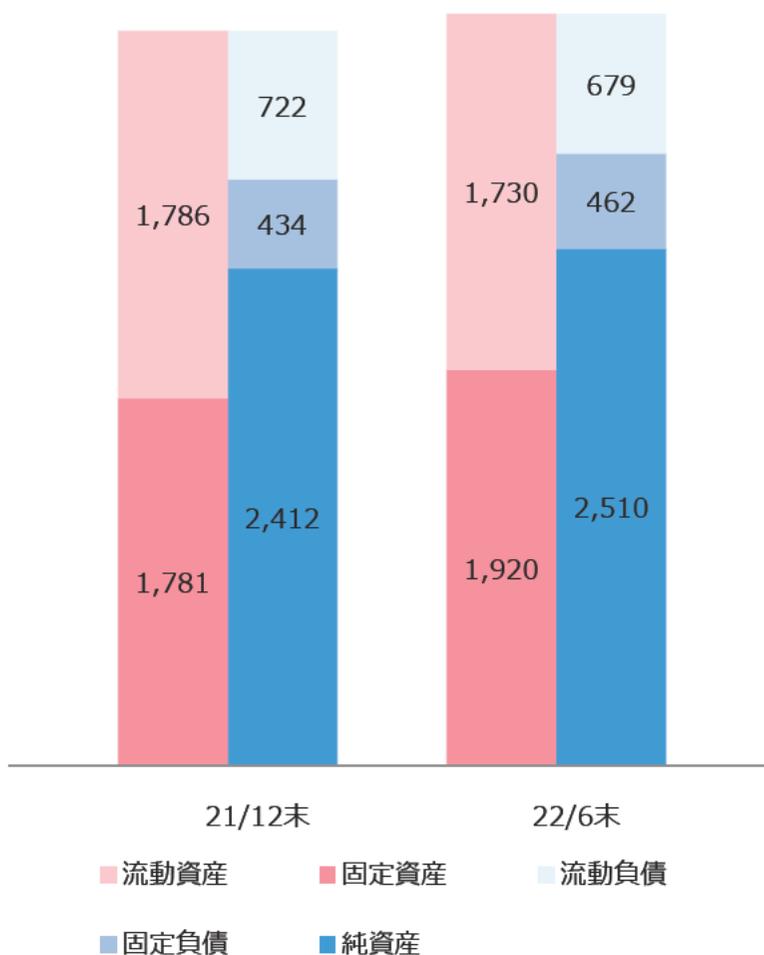


		米ドル	ユーロ	タイバーツ	中国元	100韓国ウォン	100インドネシアルピア
		USD	EUR	THB	CNY	100KRW	100IDR
2019	3/31	110.99	124.56	3.49	16.47	9.80	0.78
	6/30	107.79	122.49	3.50	15.69	9.33	0.77
	9/30	107.92	118.02	3.53	15.13	8.99	0.76
	12/31	109.56	122.54	3.63	15.67	9.46	0.79
2020	3/31	108.83	119.55	3.34	15.31	8.92	0.67
	6/30	107.74	121.08	3.49	15.23	9.00	0.76
	9/30	105.80	124.17	3.34	15.54	9.08	0.72
	12/31	103.50	126.95	3.44	15.88	9.52	0.74
2021	3/31	110.71	129.80	3.54	16.84	9.78	0.77
	6/30	110.58	131.58	3.44	17.11	9.78	0.77
	9/30	111.42	129.11	3.26	17.15	9.37	0.73
	12/31	105.02	130.51	3.43	18.06	9.73	0.81
2022	3/31	122.39	136.70	3.68	19.26	10.13	0.86
	6/30	136.68	142.67	3.85	20.38	10.52	0.92

貸借対照表の状況



◆自己資本比率：67.5%(2021/12末)
⇒ 68.6%(2022/6末)



©2022 Ezaki Glico Co., Ltd. All Rights Reserved

(単位：億円)

資産の部 主要勘定科目		21年 12月末	22年 6月末	21年 12月末比
流動資産	現金及び預金	1,020	913	▲107
	受取手形及び売掛金	429	386	▲43
	有価証券	2	2	+0
	棚卸資産	282	334	+52
	流動資産合計	1,786	1,730	▲56
固定資産	有形固定資産	1,011	1,069	+58
	無形固定資産	160	183	+23
	投資有価証券	416	469	+52
	固定資産合計	1,781	1,920	+139
負債の部・純資産の部 主要勘定科目		21年 12月末	22年 6月末	21年 12月末比
流動負債	支払手形及び買掛金	324	317	▲7
	短期・長期(1年以内)借入金	2	2	▲1
	流動負債合計	722	679	▲43
固定負債	転換社債型新株予約権付社債	300	300	▲0
	長期借入金	1	0	▲1
	固定負債合計	434	462	+27
純資産	株主資本	2,235	2,202	▲32
	純資産合計	2,412	2,510	+98

【注意事項】

*この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、取組みなどは、現時点において入手可能な情報の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知下さい。

*そのような要因の例としては、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

《お問合せ先》

江崎グリコ株式会社 株式・IR部長 榊原 圭一

TEL : 06-6477-8167

E-mail : ir-division@glico.com